ボーリング柱状図

調　査　名　府中上下線外　道路災害防除事業に伴う業務委託

事業・工事名　道路災害防除事業

ボーリングNo.	5	1	3	3	7	1	2	4	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	広島県府中市阿字町（測点No.6+6.80 R-39.7）	北緯	34° 36’ 12.8450″	
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成27年12月10日～平成27年12月14日	東経	133° 10’ 51.8750″	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM 154.99m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	26° 水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機	東邦DH2D	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	8.00m								エンジン	ヤンマーNFD-130型	ポンプ	東邦地下工機BG-3B

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1	153.54	1.45	1.45		礫混じり粘土質砂	暗褐	中ぐらい		表土 径5～50mm角礫不均質に混入 局所的に粘性土分増大			1.15	3	3	4	10/30								
2					礫質土	褐灰～褐			崖錐堆積物 最大径40mm程度の角礫主体 局所的に砂分、粘性土分増大する GL-3m付近礫密集 1.7m, 4.5m付近に確認長100mm程度の玉石含む			1.45												
3											12/12 2.80	2.15	2	1	2	5/30	10 5 22 23							12/11
4						淡黄褐						2.45												
5	149.94	3.60	5.05									3.15	10	7	5	22/30								
6												3.45												
7					泥質岩	灰～暗茶			砂岩と互層状を呈す 岩片は概ね中硬質で短柱～柱状コアとして採取される。軟岩Ⅱ（CM級）主体で一部中硬質岩 割れ目間隔は5～30cmで、割れ目面は暗褐色に変色している。割れ目の一部に砂質土の薄層挟む 掘削水は全漏水 7.0～7.2m, 8.0m付近、軟質で割れ目密集する（礫状コア）		12/14 6.00	4.15	7	8	8	23/30								12/12
8	146.99	2.95	8.00								12/15 8.00	4.45												
9												5.05	50			50/5	50以上							12/14
10												5.10	5											
11																								
12																								
13																								